



広島大学大学院教育学研究科 「シンクタンク」は なぜ必要か，何をなすべきか

—Curriculum Research & Development センターの実現に向けて—



日時

2016年

1 / 10 日

13:00

17:00

会場

教育学研究科

第1会議室 (管理棟2階)

趣旨

広島大学大学院教育学研究科が，教育や学習に関わる研究・教育を有機的にリンクさせ，それらの成果を社会に発信するとともに，教育政策や教育現場の課題解決にどのように貢献していくべきか，各界の関係者と意見交換を行います。

■ プログラム

13:00	研究科長あいさつ	宮谷 真人
13:05	「シンクタンク」構想とは何か	山元 隆春

【第1部】事例報告 「教育学研究科シンクタンクに発展しうる取組例」

13:15	(1) グローバル時代の新カリキュラムの研究・開発	棚橋 健治, 影山 和也, 三好 美織
	(2) 学習者に配慮した教科書デザインの研究・開発	森田 愛子
▼	(3) 小学校英語教育のテキストの研究・開発	兼重 昇, 松宮 奈賀子
	(4) 高次の読解力の指導と評価を支援するハンドブックの研究・開発	間瀬 茂夫
	(5) 社会科の授業力向上を支援する研修プログラムの研究・開発	草原 和博
	(6) 大学教員の授業研究のためのスペイン語版ハンドブックの研究・開発	桑山 尚司
	(7) 小括—「シンクタンク」構想との接続—	
15:00		

【第2部】パネルディスカッション 「教育学研究科シンクタンクに期待するもの」

15:20	(1) 各識者の視点・立場から	
	- 角屋 重樹 先生 (日本体育大学教授, 日本教科教育学会会長)	
	- 寺田 拓真 先生 (広島県教育委員会, 学びの変革推進課長)	
▼	- 吉田 総仁 先生 (広島大学・研究担当理事, 副学長)	
	(2) フロアとの討議	
16:50		

16:50	おわりに	棚橋 健治
-------	------	-------

■ 主催：広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト

「現代社会の課題に応える教育学研究科の拠点機能の構築に向けたパイロット研究」グループ

■ 参加方法：参加費は無料です。当日参加も受け付けますが，できるだけ事前に下記より申し込みをお願いします。

■ 付記：本シンポジウムは，平成27年度広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト「現代的な諸課題に応える教育活動の研究・開発に関する共同研究」の一環で実施されます。

問い合わせ
申し込み

広島大学大学院教育学研究科 社会認識教育学講座 草原 和博

TEL&FAX：082-424-6800

e-mail：kusahara (AT) hirosshima-u.ac.jp ※ (AT) は半角@に置き換えてください。